

## すだち果皮から寿命延長物質を発見

徳島大学薬学部（学部長：高石喜久）では、すだち果皮に含まれる成分に、ワインに含まれ寿命延長物質として有名なレスベラトロールと同等の活性を示す化合物を得ましたので公表します。

## （報道概要）

1. 徳島大学薬学部では地域特産品の有効利用研究の一環として、「すだち果皮の有効利用に関する研究」を進めています。
2. これまで、すだち果汁搾汁後廃棄されていた果皮に注目し、これを凍結乾燥し、すだちパウダーを作成した。動物実験の結果、このパウダーが1) 血糖降下作用を示すこと、2) 動物の寿命を延長することを発見し、発表しました。
3. その後、我々は動物の寿命を延長する原因は何かを追究してきました。寿命延長物質を探索する試薬を用い、すだちパウダーに含まれている成分を検定しました。
4. その結果、すだちパウダーに含まれている成分の中で、フェノール性化合物数種に活性があることを発見しました。これら化合物の活性は、ワインに含まれ、寿命延長物質として報告されている有名な化合物「レスベラトロール」とほぼ同じ活性を示しました。
5. 我々は、動物実験で動物の寿命を延ばした原因物質の一つはこれら化合物の存在であると考えています。
6. 本成果は、本年6月末ハワイで開催される「第50回アメリカ生薬学会」で発表します。

なお、本研究は徳島大学薬学部生薬学研究室（高石、柏田）、医薬品機能解析学研究室（土屋）、KTT 貿易株式会社（大阪、社長：井端）、一丸フアルコス（岐阜）の共同研究です。

## お問い合わせ先

部局名 薬学部

責任者 学部長 高石 喜久

担当者 高石 喜久（たかいし よしひさ）

電話番号 088-633-7275

メールアドレス takaishi@ph.tokushima-u.ac.jp